

今年、梅雨に入ってから晴れた日はさまって、ピアノにとってはありがたい天候です。雨が続いたら、エアコンや除湿機を利用しましょう。

Newsletter

2007-7 月号



あちらこちらでいろいろな色・形のアジサイが花盛り。皆さんは、どんなアジサイが好きですか？

さて、**8月5日の発表会**まであと**1ヶ月**となりましたよ！
そろそろ止まらずに弾けるようになりましたか？

もう、発表会の曲に飽きてきた人もいるのでは？ そんな時は、もう一度、曲のイメージをリファインしてみましょ。どの部分も、自分が「こう弾こう・・・」と思って弾くことが一番大事です。

れんしゅう
練習するときは、**ここがポイント！**

まずは、^ひ1、弾けないところをよく知る^しこと。
^ひ2、弾けないところを**少しずつ**^{すこ}ついでい^{れんしゅう}ねいに！練習。

^と止まらず^ひ弾けるようになったら、^て手の形^{かたち}や^し姿勢^{しせい}に気をつけて、^まもっと
^き気持ちよく^ひ弾けるように^く工夫^{くふう}しましょう。

1日3分でいいから、**できるだけ毎日**^{まいにち}
ピアノにさわること。

足立智真



音楽の科学 ～ pとf (ピアノとフォルテ) ～

ピアノという楽器の一番の特徴は、^{とくちょう}とっても小さい音やかなり大きな音がでることです。

ピアノの前身の楽器の一つであるチェンバロや、同じ時代に流行っていたリコーダーとくらべると、ダイナミクスレンジ(音の大きさの範囲)がとても広いんです。

これを利用しない手はありません！
今演奏している曲で、自分の出せる**一番大きい音**と**一番小さな音**を使うところを検討してみてくださいね！

岡本芳雄